



# 立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39<sup>th</sup> Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>



ニュースレター2022年 6月

皆様こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。

6月を迎え2022年もあっという間に半年が過ぎ去ろうとしています。

最近のWHOの報告によりますとCOVID 19による全世界での死亡者数はこれまでの予想をはるかに上回り1500万人近くとなり、全米でも100万人に及ぶとされています。

このところワクチンの接種が進んできたせいか街を歩いてもマスクを着用している人の数もかなり減り着用の義務化も緩和されてきているようです。しかしながらまだ収束したわけではなく決して注意を怠ることは出来ません。

またウクライナにおけるロシアによる侵攻も収まらず、北欧の中立国もNATOへの加盟を希望するなど益々混迷を深めています。ここでCOVID 19により亡くなられた皆様、そしてウクライナにおける犠牲者に対し心よりご冥福を祈りたく思います。そしてこのコロナ禍に於いて懸命に尽くされている医療関係の皆様、行政及び私たちの日々の生活を支えて下さっているエッセンシャルワーカーの皆様に深く感謝申し上げたく思います。

さて、4月7日に本会でもなじみの深かった仏教研究者の「ひろさちや」さんがお亡くなりになりました。ひろ先生は数多くの著作で現代人にとっても分かりやすく仏教についての解説をして下さいました。今月はひろ先生が良く述べられていたものの見方についての視点を紹介したく思います。それはものごとをどのようにとらえるかという仏教の「実相」のとらえ方に繋がる考え方です。

例として挙げられているのは飛行機のパイロットが空を飛ぶときの話です。パイロットは2つの視点をいつも心掛けています。それはコクピットから見える外の様子で、遠くに見える山並み、地平線、雲の様子などに注意を払います。これを内側から見た外の様子で、IN SIDE OUTの見方と言います。2つ目は飛行機の外から自分の機体の姿勢、向き、傾きなどを絶えず意識する視点、OUT SIDE INの見方を大切にして飛行機を目的地に向け安全に飛ばしているという事です。

この話にあるように、私たちの日常生活においても内側から外の様子を見る視点と、外側から自分自身を見つめる両方の視点が大切だと思います。しかしながら私たちはどうしても内側から見る外の様子からだけで自分の立ち位置を判断しがちです。外から見た自分はどのように見えているのか分からずに自分の都合、自分の思いだけで判断し、しかも自分は良かれと思って行動してしまう事が多々あります。

そこでもう一つ自分を離れた立場から見つめてみると別の見え方が出てくるわけで、周囲の人々から見える自分の存在がどのようなものかが分かります。これは主観的なものの見方と客観的なものの見方の違いにつながるものと思います。

しかしそうは言ってもなかなか客観的に自分を見るなど難しいことでもあります。  
そこで、そうしたことを訓練し身に着ける場が法座での修行ではないでしょうか。

自分の考えている事、思いをサンガの仲間に伝えそして皆さんの気付いたこと、感じたことを聞かせてもらう事で今まで自分だけではわからなかった事の発見が出来自分に対する認識が深まります。しかも語り合いは相互の主観のやり取りではなく、あくまでも教え（法）に照らし合わせてみるとどうなのかという学び合いの場でOUT SIDE INの視点につながります。

仏教は「智慧と慈悲」といわれその智慧とはものごとの異なる点と共通する点を同時にとらえる視点で、たとえば私とあなたという存在はお互いの性格、体形、感じ方、考え方の違いがありますが同時にこの世を共に生きるかけがえのない人間として存在するという視点も大切です。ですからお互いの優劣を競ったり、争ったりする必要はなくその違いを認め尊重する中で、相互の共通性も発見でき結果として仲良く暮らすことが出来ます。これが智慧のある生き方に繋がります。

また、お互いの違いばかりを見つける視点が強調されますと争いのもととなり、差別的な視点にもつながります。どちらの視点にもかたよることなく程よくバランスの取れた「中道」の視点を大切に心掛けたく思います。

そのためには相手を思いやる慈悲の心が大切で「智慧は慈悲の心から生ずる」と教えられますが浅知恵から生ずる冷たい知恵ではなく相手を思いやる真心から生ずる温かい智慧が大切ではないでしょうか。

NY教会の改修工事もようやく工事許可が下り現在は隣接する道路や歩道にも防護柵が組まれ外壁を全面的に新しくする作業が9月をめどに始まり40周年を祝う装いを整えています。

これまでの冷え込む毎日から一転し暑さの訪れる季節となりますが、急な変化に体調を崩されませんよう気を付けて今月もご精進ください。



合掌

ニューヨーク教会長  
畠山友利